

「第8回徳山ダム環境保全対策委員会」審議内容メモ

日 時：平成15年9月16日（火） 13:30～16:00

場 所：名古屋逓信会館 6階 菊の間

出席者：（委 員）佐藤委員長、阿部委員、駒田委員、前田委員、松井委員、
中村委員、西條委員（abc順）
（事務局）33名

【審議内容等】

1. 前回（第7回）委員会の審議内容の確認

第7回委員会（平成15年2月28日）の審議内容を確認した。

2. 事業進捗状況及び今後の工事計画について

平成15年8月末までの工事進捗状況を確認した。

平成15年度の主要な工事予定に関する説明があった。

3. プロジェクトの実施状況について

各プロジェクトの活動状況と今後の活動予定について、以下のように報告と審議が行われた。

陸域環境：生育・生息環境 P T

1) 湿性地の整備状況について報告がなされた。過去の水田があった時期に生育記録のあったアゼオトギリがすでに湿性地で定着していることが補足説明された。

2) 横坑の坑口形状の検討結果とコウモリ類の利用状況について報告がなされた。

陸域環境：植物 P T

1) 植物の重要な種への対策の進め方、移植ヤードへの移植の実施状況について報告がなされた。

2) 表土の利用による在来植生の回復の取り組み状況について報告がなされた。ススキおよびササ類等を利用して表土の流失を防止する等の工夫も検討していくこととする。

3) 実のなる木を植えよう作戦、城平杉の苗木づくりに関する関係機関との連携による取り組み状況について報告がなされた。

河川環境 P T

1) 岐阜県内水面漁場管理委員会により湛水予定区域の上流部が魚類の採捕禁止区域に指定されたことの報告がなされた。

2) お魚引越し作戦の実施状況についての報告があり、徳山ダム流域ではア

ジメドジョウは全体的には減少傾向にある中で、すでに移動を実施した箇所では、その効果が認められているとの補足説明があった。

ワシタカPT

- 1) 今年の繁殖状況について報告された。
- 2) 営巣環境解析、狩り場環境解析について、検討状況の報告がなされた。
引き続き、検討を進めることとし、レーザープロファイラー等の手法を活用してはどうかとの提言があった。
- 3) クマタカ保護に関する説明があった。つがいを形成していない個体に関する知見は乏しいが、現在実施されている保全対策をとっていくことがこのような個体の保全に有効であるとの意見があった。

4. モニタリング調査について

各PTでの検討を踏まえ、モニタリング調査計画について説明があり、基本的に了承した。今後、各PTでの具体的な検討を進めることとする。

湛水による周辺環境の変化については、湛水前のデータについて、早期にデータの取得を開始することを確認した。

モニタリング調査の計画立案にあたっては、徳山ダム上流域の公有地化事業との関連も考慮に入れていくことを提案した。

人的管理が必要な場合も想定して対応していく必要があることを提案した。

5. 審議内容の確認

本日（平成15年9月16日）の審議結果を本メモに基づいて確認した。